

まちづくり団体の取り組み ～こんなことやっています～

誰もが自由に移動できる街に 自立生活センター・ライフサポート水戸

ライフサポート水戸の活動概要

自立生活センター・ライフサポート水戸は、障害者の自立・自立生活支援を中心に活動している特定非営利活動法人（NPO法人）です。

障害者の方に介助者の派遣を行う介助サービスや車椅子のまま乗れるリフト付きワゴン車による移送サービス、ボランティアやケア講習等のセミナー企画・実施等の活動のほか、道路や建物等のバリアチェックによる行政への提言等、会員約100名が積極的な活動を行っています。

最近の活動「岩間街道歩道バリア調査」

このライフサポート水戸では、このたび、昨年9月に実施した「岩間街道歩道バリア調査」の結果をまとめました。

この調査は、「障害当事者の視点」から歩道を調査し、より実情に即したバリア解消の方途を見出すために実施されたもので、県道水戸岩間線の八幡橋～桜山に至る約3kmの範囲の約50ポイントについて、車椅子利用の障害者1名と2名の健常者が班を組み4班体制でチェック評価しております。

結果として主に4つの問題点と提言がまとめられました。

1つには、「マウントアップ（*注）の弊害」で、車両入出路の切り下げ部分が車道側へ大きく傾斜し危険な状態であること、車両入出路の切り下げ部分が続き歩道が波のようにアップダウンすることが指摘されています。対応策として、可能な限りマウントアップを解消し縁石ブロックにより車道と区別したり、緩やかなスロープの敷設が提案されています。

2つめは、「幅員の問題」で、歩道が狭いためにゴミ袋や看板が歩道をふさいでしまい、車椅子の移動が不可能な場所があるとのことで、ゴミ収集マナーの徹底や集積場所の確保が提案されています。

3つめは、「スロープのアプローチ部分段差と交差点でのDブロック使用による弊害」で、D形と呼ばれる段差のあるブロックが多用されているため、車椅子では激しい振動を感じたり前輪を上げなければ移動が困難であることが指摘され、D形ブロックの使用を止めていくことや段差をアスファルト等で解消することが提案されています。

4つめは、「視覚障害者への配慮の問題」として点字ブロックの整備の不備等が挙げられ、早急な点字ブロックの整備をすることと障害者用押しボタン信号については新規の設置ヶ所を増やすこと等が提言されています。

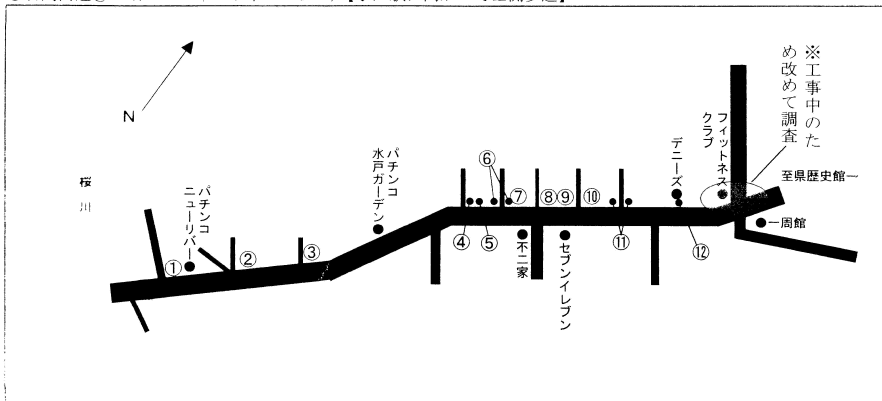
障害者自身の目で実際に限なく街を歩いて点検した調査であり、これら結果と提言は県関係課や水戸市等に提出されました。



- (*注) マウントアップ
- 歩道構造形式の一つで、歩道等面と縁石天端の高さが
- 同一である歩道（車道より高くなっている歩道）構造。



●岩間街道〔桜～フィットネスクラブ〕【水戸駅に向かって左側歩道】



岩間街道バリア調査の調査表の一部
 当団体独自のチェック評価基準により厳しくチェックがなされた

No.	場 所 (個所)	内 容	備 考	評価
1	パチンコニューバリー前	少々路面の凸凹	特に問題無い	A
2	手打ちそば「よねや」～パチンコガーデン	左側に傾斜あり		B
3	團部商店向かい	どぶ板穴あり	危険	C
4	鈴木自動車駐車場	どぶ板外れている	危険	〃
5	焼肉「宝島」前	道路標識が歩道中央にある		B
6	「FITS」前のT字路	歩道凸凹	整備悪い	〃
7	ワークマンの角	同上	同上	〃
8	栗原新聞店前のT字路	排水溝のビットの目が大きい		C
9	シンヤタクシー前	歩道凸凹でスロープが急		B
10	高嶋医院の向かいの駐車場	歩道凸凹、スロープも凸凹		〃
11	あかしや菓子店隣り	スロープ急傾斜		C
12	デニース前 (付近)	スロープ急傾斜		B

チェック評価基準 ※評価ランクは当団体独自の目安です。※評価は全て手押し車イスが自走車イスの場合です。

A	B	C	D	E
大きな問題は無いが気になる個所の場合に記載	路面が少々凸凹で女性や腕に障害あれば移動かなり困難	路面がかなり凸凹で移動に苦勞する。時には危険	介助者が押さないと移動できない。時にはかなり危険	移動不可

バリアフリーがノーマライゼーションにつながるまで

ライフサポート水戸では、これまでも様々なバリアフリーの環境点検活動を行っており、平成12年には国道118号線の茨城大学～栄町～駅に至る道路や赤塚駅構内を、今年度は既に駅南通り(駅前交差点～市役所前交差点)の調査を実施しております。

「水戸市には『住み良いまちづくり条例』に提言を反映してもらったことありますが、道路や歩道を整備する前の計画段階で何らかの形で我々にも相談してもらえたら、もっとよりよいものが出来ると思います。例えばどんなに重度の障害を抱えていても誰の手も借りずに街を歩けるようになることが理想です。バリアフリーが、本人の意思に基づく自由な行動の確保というノーマライゼーション理念の実現につながるまで、ライフサポート水戸の取り組みはこれからも続きます。」代表の井上さんは、熱心に話してくれました。



(問い合わせ先：ライフサポート水戸
 代表 井上さん 029-251-0251)